

小規模企業景気動向調査

[平成30年12月期調査]

～停滞感から一転、小幅に改善した小規模企業景況～

2019年2月15日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年12月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…暖冬による恩恵を受ける地域があるも、天候不順が景気低迷を誘発する小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、採算DI、資金繰りDIのいずれもが改善した。改善幅は、売上額DI、採算DIがわずかで、資金繰りDIと業況DIは小幅に改善した。年度末の資金需要に対し各地の金融機関は貸出姿勢も良好であった。また、昨年と比べると全国的に降雪が少なく、車による移動がスムーズなことが集客につながっている反面。雪を必要とする観光業や宿泊業では客足が減少したり、天候不順による不漁で水産加工業等に影響がでている。

<製造業> ◇…回復基調から一転、全項目で悪化に転じた製造業…◇

製造業は先月から一変、全項目が悪化となった。特に売上額DIと採算DIが小幅に悪化した。一部の食料品製造業では、原材料の仕入価格が安定してきたことや年末年始に向けた受注が増えてきたことにより、売上増に期待が持てるとの声がある。また、新たな機械の導入により、生産性を向上させ売り上げをあげている企業があるとのコメントがあった。一方で、段ボールや石油由来のプラスチック容器、ビニール製品等の資材価格が高騰してきていることや、米中関係の悪化などから海外への輸出が伸び悩んでいるとのコメントが見られた。

<建設業> ◇…人手不足に起因する公共工事発注の絞り込みにより、地域に差が出る建設業…◇

建設業は全項目で改善となった。売上額DIと採算DIは小幅改善、資金繰りDIと業況DIは大幅に改善した。災害からの復旧工事需要が引き続きあり、また、消費税の駆け込み需要による建築・リフォーム工事も好調である、全般的に下請工事で繁忙を極めるが、公共事業の絞り込み等により地元の工事量が乏しく、県外や遠方での受注が増えているとのコメントが見られた。業況は好調なもの、人手不足による影響が著しく、採算等を圧迫している。また、除雪作業が増えてくるシーズンであるが、全国的に降雪が少ないため、目立った動きは無い。

<小売業> ◇…数値上は全項目で改善を示すが、景況感は改善とは言い難い小売業…◇

小売業は、先月から一転全項目で改善となった。特に採算DIを除く3DIで小幅に改善した。年末の需要で食料品販売業が好調であり、寒さにより暖房器具等にも動きがあるとのコメントがあった。また、積雪の少ない地域では、客足の減少が見られず、好調であるとの声も聴かれた。しかし、消費税の増税懸念に加え、暖冬、大型店・ネット通販との競合から小売業を取り巻く環境は大変厳しく、改善を示すコメントは少なかった。

<サービス業> ◇…好調が継続も、人手不足や燃料高により厳しい状態の続くサービス業…◇

サービス業は先月に引き続き、全項目が改善した。特に採算DIは大幅に改善した。年末年始の各種イベント需要から理美容業において利用者の増加が見られた。宿泊業では冬シーズンの到来から売上が伸びている地域もある。しかし、人手不足については依然として改善されず、他業種を競合し人材の獲得競争に拍車をかけている他、運輸関連は燃料の高止まりから厳しい状態が続いているとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 9.2	▲ 7.8	1.4	▲ 3.3	▲ 5.4	▲ 2.1	9.1	12.6	3.5
採算	▲ 14.9	▲ 13.3	1.6	▲ 11.1	▲ 13.6	▲ 2.5	▲ 6.4	▲ 3.9	2.5
資金繰り	▲ 11.9	▲ 9.0	2.9	▲ 7.0	▲ 8.0	▲ 1.0	▲ 8.2	▲ 2.8	5.4
業況	▲ 14.7	▲ 11.5	3.2	▲ 9.8	▲ 10.7	▲ 0.9	▲ 2.1	6.1	8.2

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 25.5	▲ 23.0	2.5	▲ 17.3	▲ 15.5	1.8
採算	▲ 23.4	▲ 22.7	0.7	▲ 18.8	▲ 12.9	5.9
資金繰り	▲ 20.3	▲ 15.5	4.8	▲ 12.0	▲ 9.7	2.3
業況	▲ 27.2	▲ 25.0	2.2	▲ 19.9	▲ 16.7	3.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

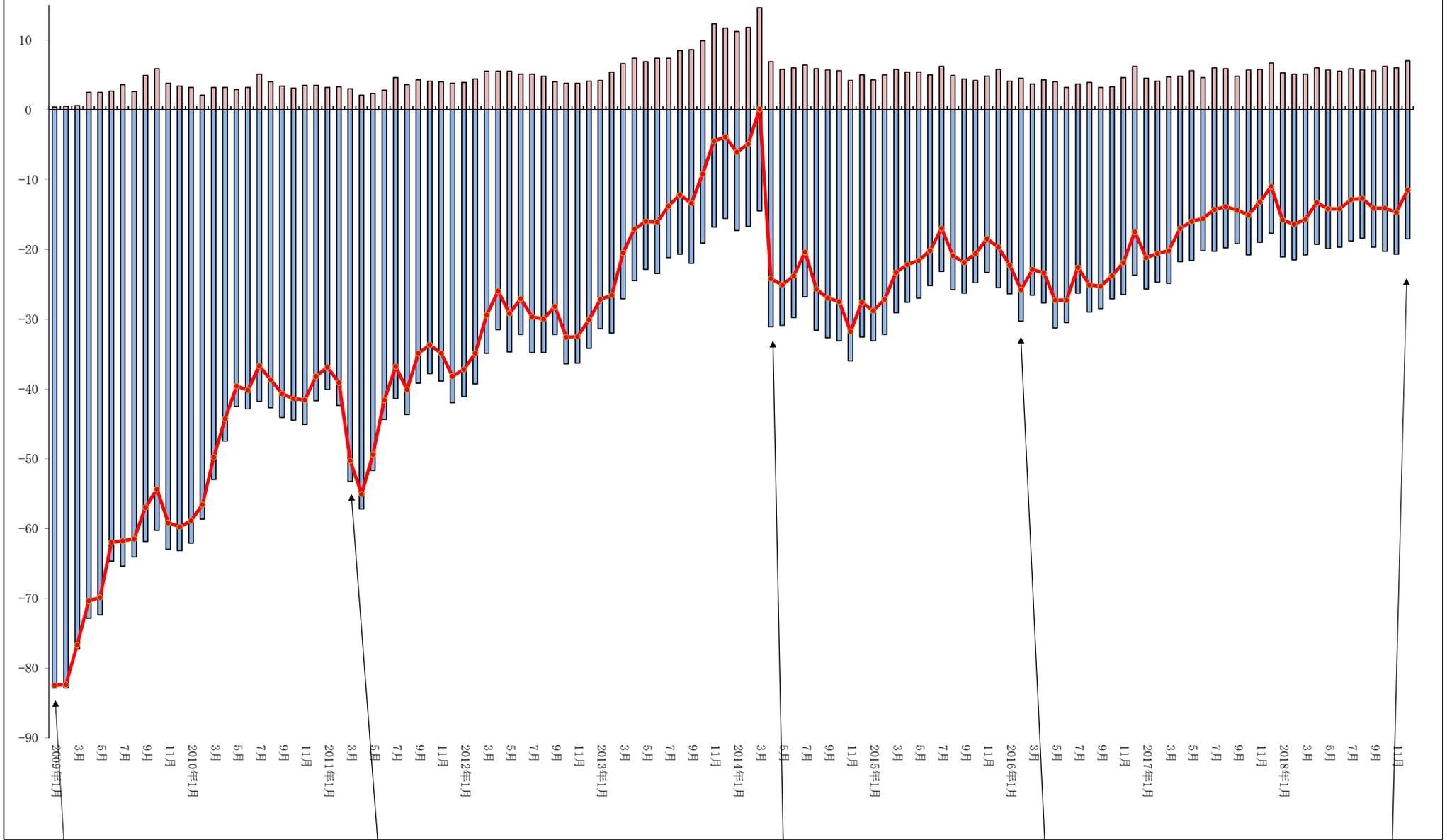
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上
げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/12月
-11.5

小規模企業景気動向調査(12月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・積雪のない12月はめずらしく、車での移動がスムーズにできる事から買い物に行きやすい状況であったため、地域全体にもぎわっていた。金融機関の貸出態度は何ら問題はない。

(岐阜県高山西商工会)

・大島大橋衝突事故の影響も沈静化し、一時混乱をきたしていた大島地域の経済活動も通常の状態に戻った模様。

一部の事業者は混乱時期に大きな売上の損失を計上した。

(山口県大島商工会)

・例年11月下旬頃から降雪があるが、今冬は降雪が全くと言っていいほどなく、各業種ともにプラスに働いている。

(長野県根羽村商工会)

・災害復旧の影響で特に建設業が好況のように見受けられる。他の業種も復旧整備が進むにつれて、徐々にではあるが業況が回復しているように見受けられる。

(岡山県岡山北商工会)

・地域内で始まった火力発電所建設工事関連で、建設資材の受注が決定した事業者や、長期滞在者用宿舎への食材納入が決まった事業者があり、まだ大きく動いてはいないが地域経済に明るさが少し見えている。

(島根県石中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・暖冬により、雪や寒さを必要としている業種等は軒並み売り上げ減少している。

(福島県北塩原村商工会)

・年末商戦・忘年会シーズンではあるが、消費は伸び悩んでいる状況である。少子高齢者が進んでおり、現状維持することが精いっぱい事業所も見られる。

(茨城県城里町商工会)

・特産品の桜えび漁が中止になったことに伴い、地区内の様々な事業者への影響があった。記録的な不漁により金融機関による金融緩和措置がとられ、融資枠の拡大や延納ができるよう対応がとられた。

(静岡県静岡市清水商工会)

・昨年の12月と比較し、全体的に売上が伸び悩んでいる印象を受けた。原因は米の収穫量が減少による米農家の売上減少、それに伴う米農家の購買力の低下が考えられる。

(秋田県湯上市商工会)

・それほどの変動もなく安定している。安定と言えば聞こえがいいが、低い位置での安定である。少子高齢化が進む中、都市間格差、所得格差がますます開いているように思われる。一億総中流と言われた時代のほうがよかったような気がする。

金融機関は貸しやすいところへの資金供給へ移ってきた気がする。企業再生を本気でやる気があるかは甚だ疑問である。

(鹿児島県霧島市商工会)

・基幹産業である漁業で、ハタハタの不漁により関連業種を含め地域経済に活気がない状況にある。

(秋田県白神八峰商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・食品関連の製造業は、材料の仕入価格も例年並みのため、年末年始に向けた受注も多く、売上に期待できる状況になっている。

(岐阜県高山西商工会)

・自動車関連の金属加工関係は引き続き好調を維持。食品製造業については機械の導入で生産性が上がり、新規取引開始もあり好調。付加価値の高い商品を求めている市場に受け入れられている。

(長野県佐久市望月商工会)

・繊維製造業では補助金による機械導入によりスタッフの業務量が削減され作業効率がアップ、今後の成長が期待できる事業所もある。

(香川県高松市中央商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・石油価格がやや落ち着いているようにも見られるため、石油関連の費用はコスト上昇要因として大きくない模様だが、人手不足、物流費用上昇などが組み合わせられ、コスト上昇圧力が高まっている模様。米中間の貿易状況の影響が地域経済にどのように影響するか、不透明感がある。
(静岡県富士市商工会)
- ・食品製造業において、資材(箱・段ボール)価格が上昇しており、お歳暮用の受注の採算が悪くなっている。
(石川県宝達志水町商工会)
- ・需要はあるものの、最低賃金が高くなっており対応方に苦慮している。
(青森県南部町商工会)
- ・食料品について、仕入単価が今後上がり、昔ながらの金額では採算が取れない状況になってきた。
繊維工業について、受注した品物の製造難易度が高く、納品に時間がかかり、売上が若干減少した。
(秋田県湯上市商工会)
- ・繊維製造業で長引く売上げ不振による倒産があり、厳しい状況により持ち堪えられなくなる事業所が更に増加傾向にある。
(福井県坂井市商工会)
- ・食品においては、石油製品のカップやビニール製品が高騰し、利益を圧迫している。現状価格を上げることが厳しい。
繊維関係は悪い。海外への輸出も種類によっては止まってしまい、厳しい状況とのこと。
(静岡県浜北商工会)

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・板金工事、電気工事業は元請や同業者からの下請受注で繁忙であるが地元受注ではなく県外や県内遠方の受注が多くなっている。
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・外装関連の建設業は、消費税増税の駆け込み需要のため、請負工事が増えている。
(神奈川県伊勢原市商工会)
- ・施設関連の建設業は、売上高は堅調も、現場は町外が多い。
住宅関連については、着工件数一息も、一定数は維持している。
(千葉県大多喜町商工会)
- ・駆け込み需要か仕事は多いとのこと。最近の住宅は、タイルを使った洋風が多く、小さい面積でお金をかけて建設する傾向とのこと。
(静岡県浜北商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・土木請負関連の建設業は、雪がなく除雪ができないため、除雪売り上げが全く無い状況になっている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・夏の自然災害の影響が未だに出ている。屋根の修繕依頼など、仕事はたくさんあるものの、人が追い付いていない状況。そのため、受注残が多い。
(岐阜県笠原町商工会)
- ・従業員の新規雇用は難しく、既存従業員については賃上げせざるを得ない状況で燃料価格が多少下がっても利益を出すのが厳しい。
(茨城県日立市十王商工会)
- ・10月初めの台風(強風)被害建物等の修繕受注があり一部多忙になっているが、材料の調達に時間を要し、年内完了ができないところもある。
(静岡県菊川市商工会)
- ・公共工事では河川に付随する道路拡幅工事があるが、その他は緊急性を要する工事しか見受けられない。
(兵庫県上郡町商工会)
- ・建築業は全般に好調。その理由は工事高が増えたのではなく、職人が減っているから一人当たりの仕事が増えているため。利益率は上がっていない。
(徳島県東みよし町商工会)

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・食品関連の小売業は、積雪がなく消費者が動きやすい環境であるため、来店客が多い状況になっている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・生活品小売業は特に変化なし。観光客を対象とした小売店は好調。
(沖縄県石垣市商工会)
- ・食品関連については年末贈答用等前年対比増加傾向であったとのこと。
(京都府京北商工会)
- ・家電小売業は、年末商戦に入っており、昨年と比較すると暖房器具は堅調である。
(鳥取県鳥取市東商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・大型店やコンビニエンスストアは活況だが、地元小規模店は固定客が高齢化している分、厳しい環境下にあると思われる。
(山梨県河口湖商工会)
- ・地域内消費の縮小、地区外流出は止まらず、地域密着型の事業者は厳しい状況が続いている。
(愛知県豊浜商工会)
- ・婦人服関連の小売業は、暖冬のため、昨年と比べて売上が伸びていない。
(兵庫県丹波市商工会)
- ・小売では、運送費用の上昇、自然災害、人手不足などを受けて、価格上昇。一部の北海道産食材(小豆など)では価格が高値で推移しており、全体として食品が高値で推移。
食品を扱う小売店では、消費税軽減税率制度開始後の対応への不安が高まっている模様。
(静岡県富士市商工会)
- ・家電小売業では、暖冬及び夏の猛暑によるエアコン取り換え増の反動により、暖房器具の売れ行きが悪かった。
(岡山県備前東商工会)

5. サービス業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・内航海運業については、オリンピック需要のため需要が増加。受注好調となっている。
(佐賀県唐津上場商工会)
- ・本格的な松葉ガニシーズンを迎えて、売上額は増加傾向にある。加えて豊漁により松葉カニの仕入単価が下がっており、利益も増加傾向にある。
(兵庫県香美町商工会)
- ・美容業等のサービス業は年末ということもあり利用者増加が見られる。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・宿泊業においては、大規模な公共工事を多く進んでおり、地元労働者のみでは賄いきれず、他県からの労働者も多く存在しているため、宿泊者数が安定している。
(長崎県諫早市商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・飲食関連のサービス業は近年の宴会減少傾向が続いており、忘年会、新年会の予約が低迷し売上が減少している。
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・ホテルリネンクリーニングにおいて、震災キャンセルの影響が残り、売上減となり、資金繰りを多少窮屈にする。
(北海道新ひだか町商工会)
- ・旅館業は部屋は埋まるものの、個人旅行が多いため、収容率が悪く収益の増加は見込めない。
(山形県尾花沢市商工会)
- ・クリーニング業は晴れ着のレンタルが主流となった影響で売り上げが年々減少している。
(山口県岩国西商工会)
- ・運輸関連は、年末商戦やネットショッピングなどで物流量が増加しているが運賃は据え置きで、燃料費の高止まり、人手不足により厳しい状況が続いている。
(香川県さぬき市商工会)
- ・旅館…鳥海ダム工事関係の宿泊はあるものの、一般の観光客や宴会等利用客は依然として変わらず伸び悩んでいる。
洗濯…例年に比べ降雪量は少ないが、寒さが本格的となったため、秋物整理前の受注が増えている。ただ、昨年同時期と売上に差はなく今後も大きく受注が伸びる可能性はないと考えている。
理・美容…前年同月比で大きく変化はない。毎年この時期は客数が増加傾向にあり、客単価が上がりやすいためキャンペーン等の工夫を実施している。
(秋田県由利本荘市商工会)
- ・野菜は価格が落ち着いたが、まぐろが高騰しており全体的に仕入れ価格が上昇。売上も減少したため若干厳しい状況とのこと。
洗濯は、天候の影響か売上は増加。しかし仕入単価が上昇しており、採算は変わらないとのこと。
美容業については、体調不良で営業日が減り、売上減少に直結してしまった。浜北はまだ良いが、浜松中心街はもっと厳しく景気が悪いとのこと。
(静岡県浜北商工会)